

和光市地域公共交通計画等の実績報告 (第一弾)

【目次】

■総括	1
■和光市地域公共交通計画の体系	2
■和光市地域公共交通計画等の実績報告	3
■実績まとめ	19

令和8年6月29日

和光市 公共交通政策室

■ 総 括

(引き続き、現状把握・施策評価、令和 8 年度の実績等を追加)

○市内循環バスの維持・充実

- ・ **目的** 利便性向上 → **効果** 利用者・収益率増



○課題把握に向けた、より一層の現状把握の必要性

- ・ ニーズ把握、客観的データ、他の交通施策との関係性
- ・ 地理的特性を踏まえた「公共交通空白・不便地域」の再整理等



○体系的で、施策優先度を考慮した公共交通計画の策定

- ・ 客観的データ等に基づいた「施策・目標」の設定
- ・ 「基本方針」を実現する上で効果的な「施策・目標」設定

■ 和光市地域公共交通計画の体系

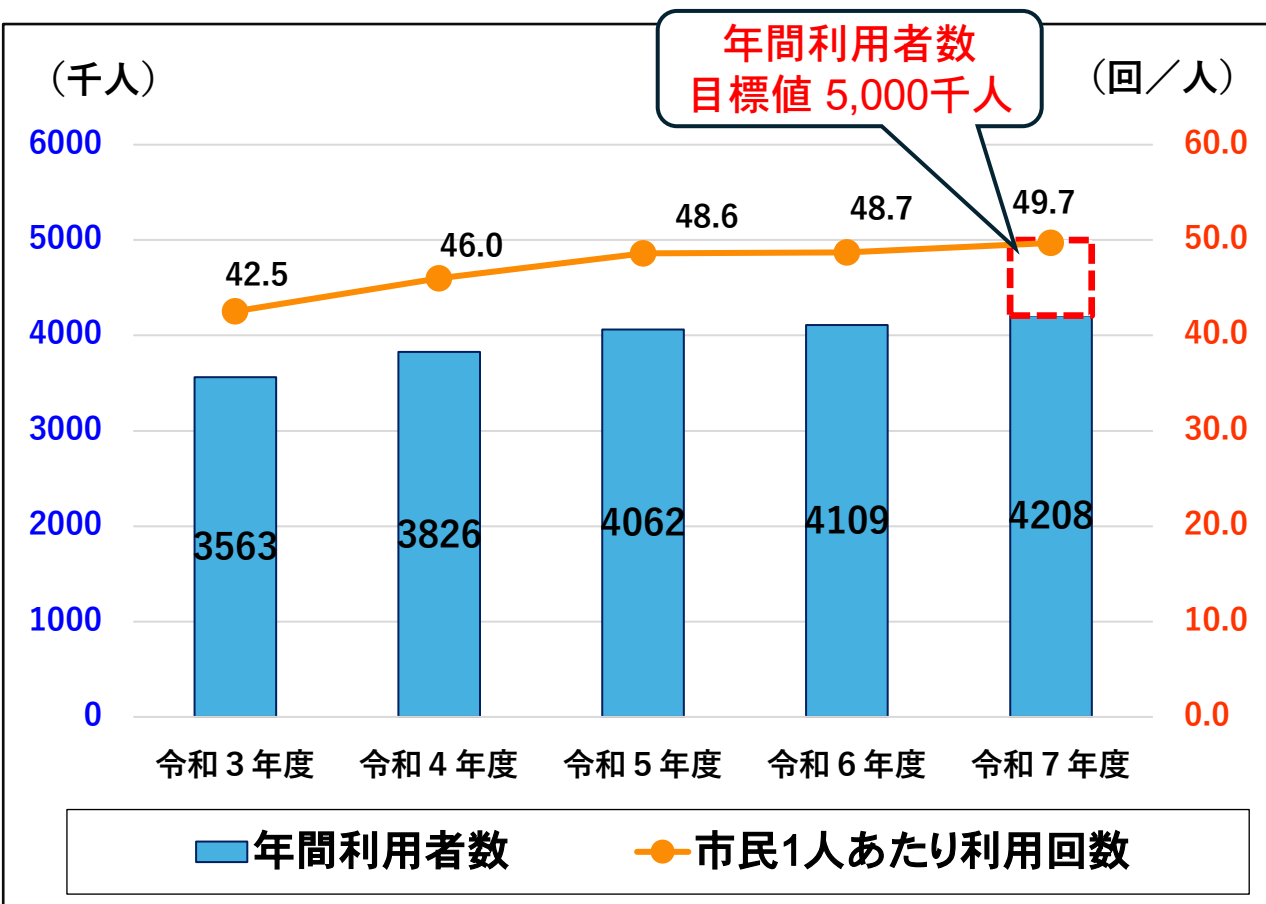
基本方針	計画の目標
市内の移動しやすさ向上	目標① 利便性の高い地域公共交通軸の維持・充実
	目標② 拠点までの市内短距離交通の充実
	目標③ 狭隘道路や坂道等による公共交通の不便性の解消
	目標④ 誰もが迷わず分かりやすい利用環境・情報提供
まちづくりと連携した持続可能な地域公共交通	目標⑤ 交通サービスを提供するための基盤整備及び体制構築
多様な移動による地域活性化	目標⑥ 多様な交通サービスの有機的な連携

■ 和光市地域公共交通計画等の実績報告

目標① 利便性の高い地域公共交通軸の維持・充実

評価指標 路線バスの年間利用者

路線バスの年間利用者数の推移
(令和3～7年度)

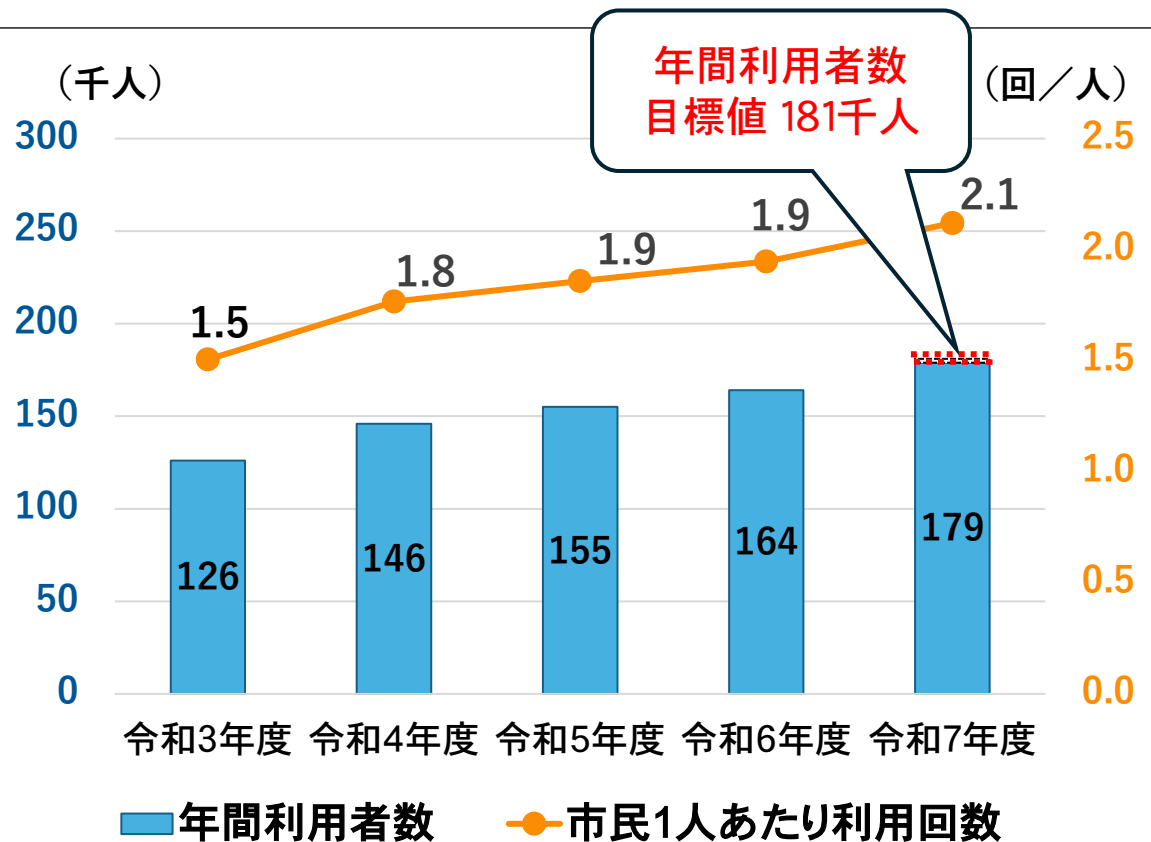


- **利用者数の推移**
 - ・利用者数は毎年増加
 - ・令和7年度の年間利用者数約421万人
- **実施した取組**
 - ・外環側道へのバス専用車線整備、バス停留所新設（6箇所）

目標② 拠点までの市内短距離交通の充実

評価指標 市内循環バスの利用者数

市内循環バスの利用者数の推移
(令和3年度～令和7年度)



➤ 利用者数の推移

- 利用者数は毎年増加
- 令和7年度の市内循環バスの利用者数 約18万人

➤ 実施した取組

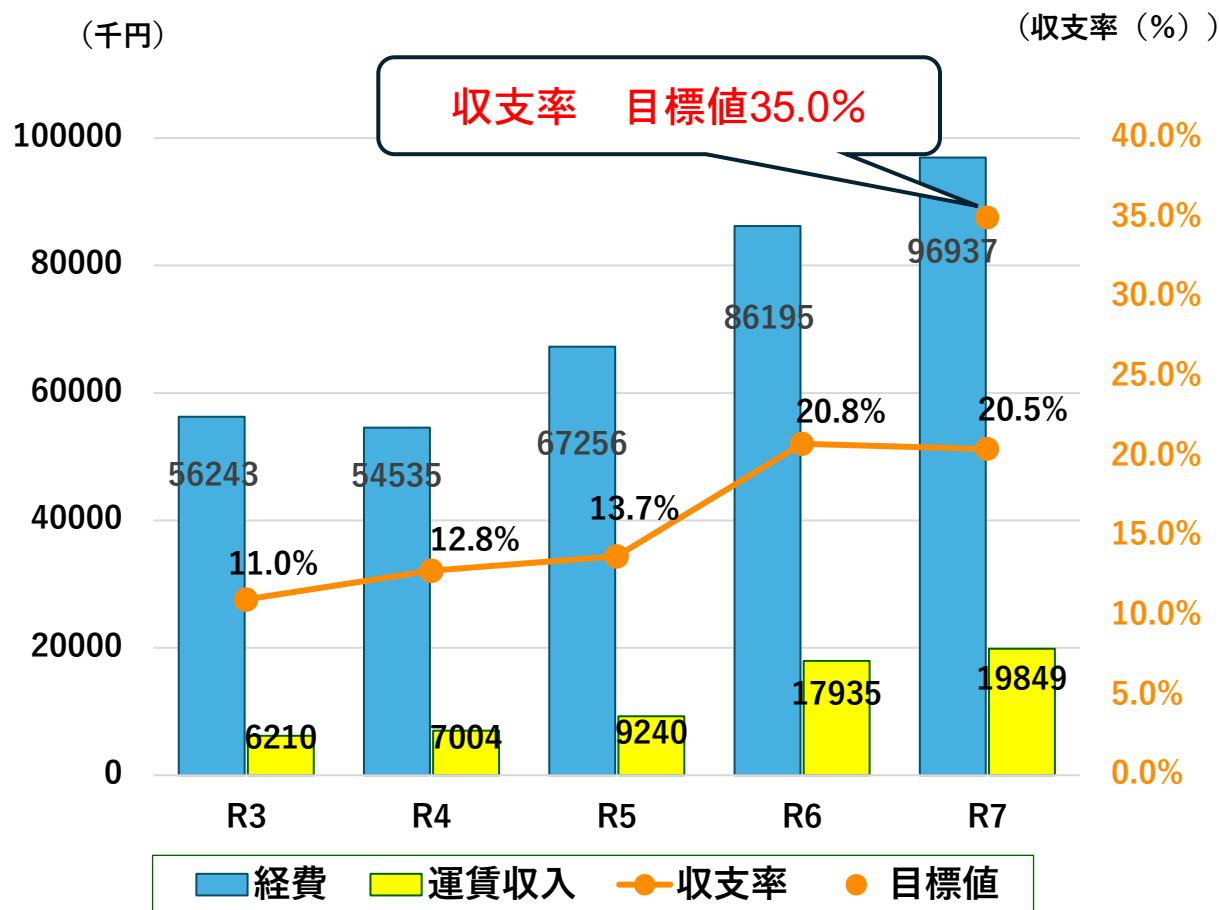
- 運行見直し
 - ➡ 小循環路線 (3 → 5ルート) による運行頻度増加

目標②

評価指標

市内循環バスの収支率

和光市内循環バスの収支率の推移
(令和3年度～令和7年度)



➤ 収支率の推移

- 令和6年から収支率が上昇傾向

➤ 実施した取組

令和6年1月

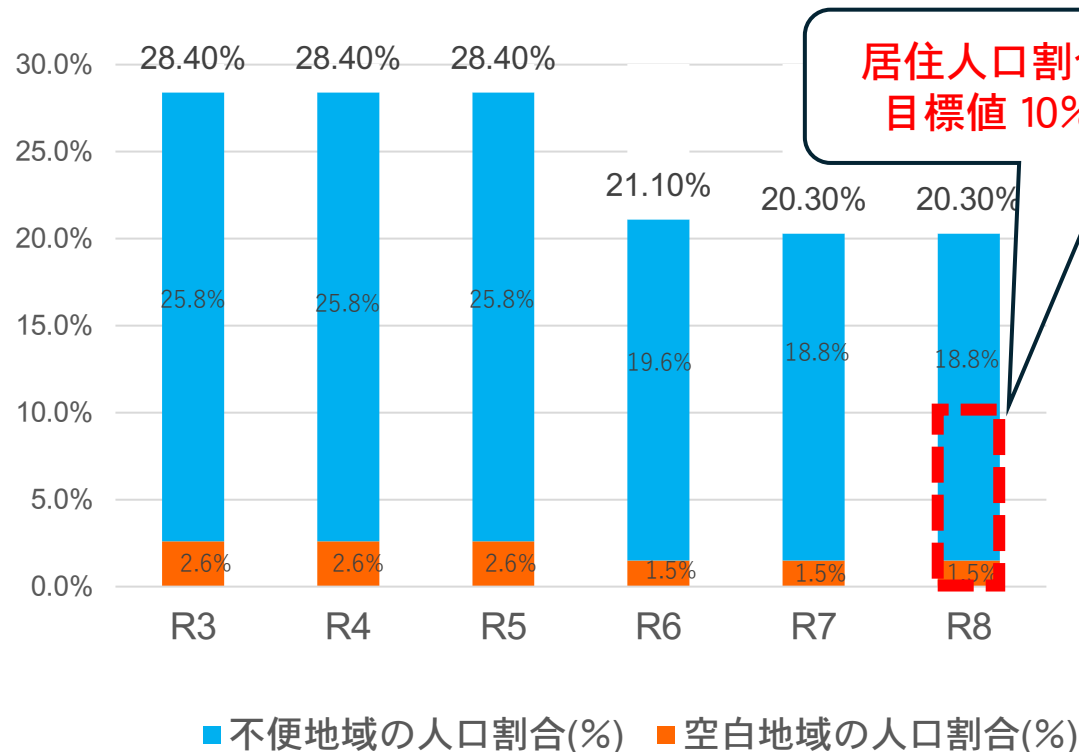
- 運賃見直し
➡ 値上げ
- 運行見直し
➡ 小循環路線 (3 → 5ルート) による運行頻度増加

目標③ 狹隘道路や坂道等による公共交通の不便性の解消

評価指標 公共交通空白・不便地域の居住人口の割合

公共交通空白・不便地域の居住人口割合
(令和3年度～令和7年度)

(人口割合)



➤ 居住人口割合の推移

- 公共交通空白・不便地域の居住人口割合は、令和5年度から約8%減少

➤ 実施した取組

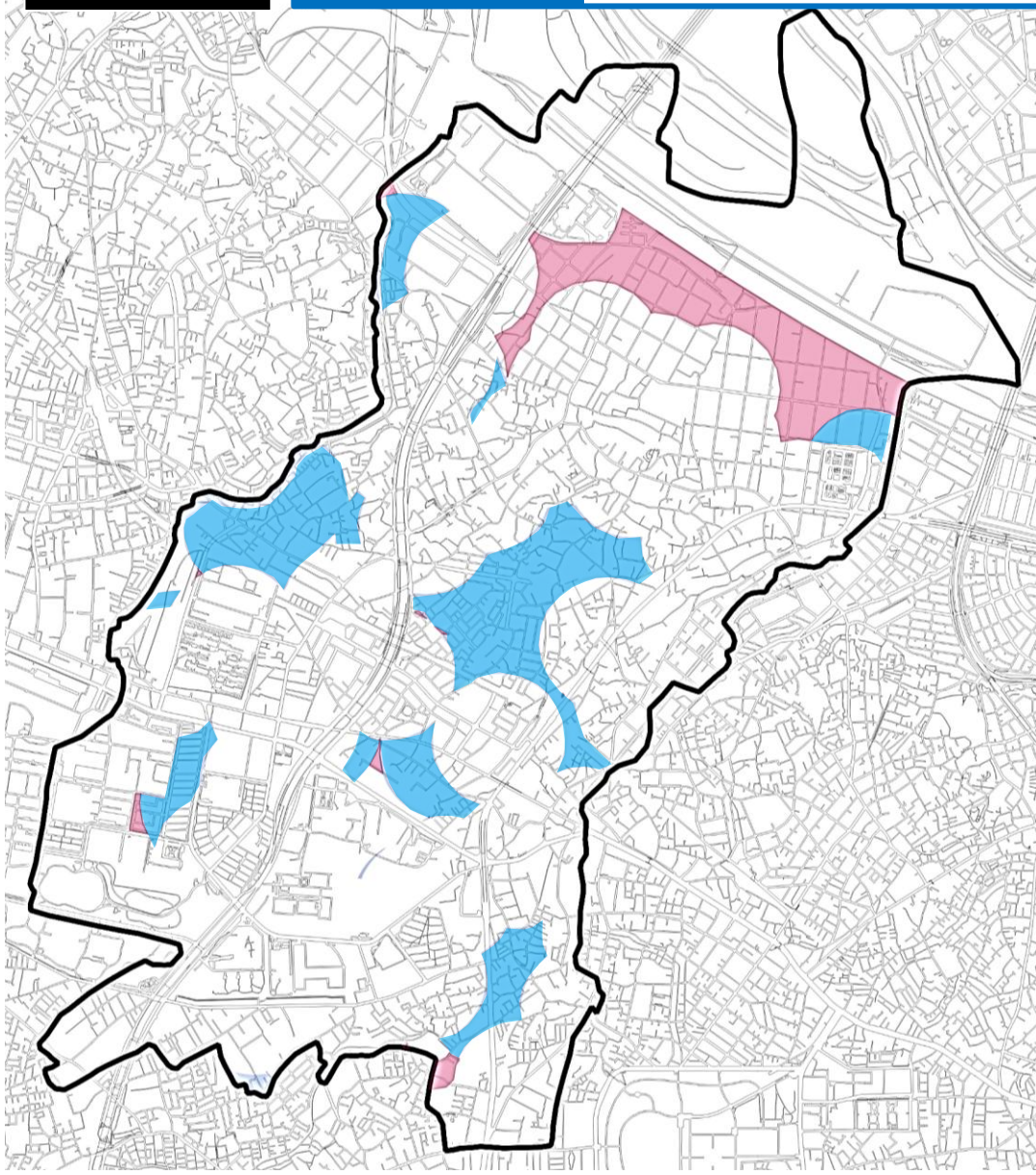
令和6年1月

- 運行見直し
➡ 小循環路線への見直し、ワゴン車の運行等により公共交通の空白・不便地域を縮小（面積約38%減）

目標③

取組内容

公共交通空白地域タクシー利用金助成事業



【凡例】

公共交通空白地域

駅・バス停から300m圏外

公共交通不便地域

バス停300m圏内で、1日のバス運行本数が24本未満

目標③

取組内容

公共交通空白地域タクシー利用金助成事業

■ 実施概要

① 目的

- ・ 路線バス・市内循環バスの停留所から離れた空白地域に居住する高齢者の外出支援

② 期間

令和4年度～（継続）※

③ 対象者

- ・ 70歳以上の空白地域内居住者

④ 事業内容

- ・ 年間24枚のタクシーチケット（500円／枚）を支給

■ 結果

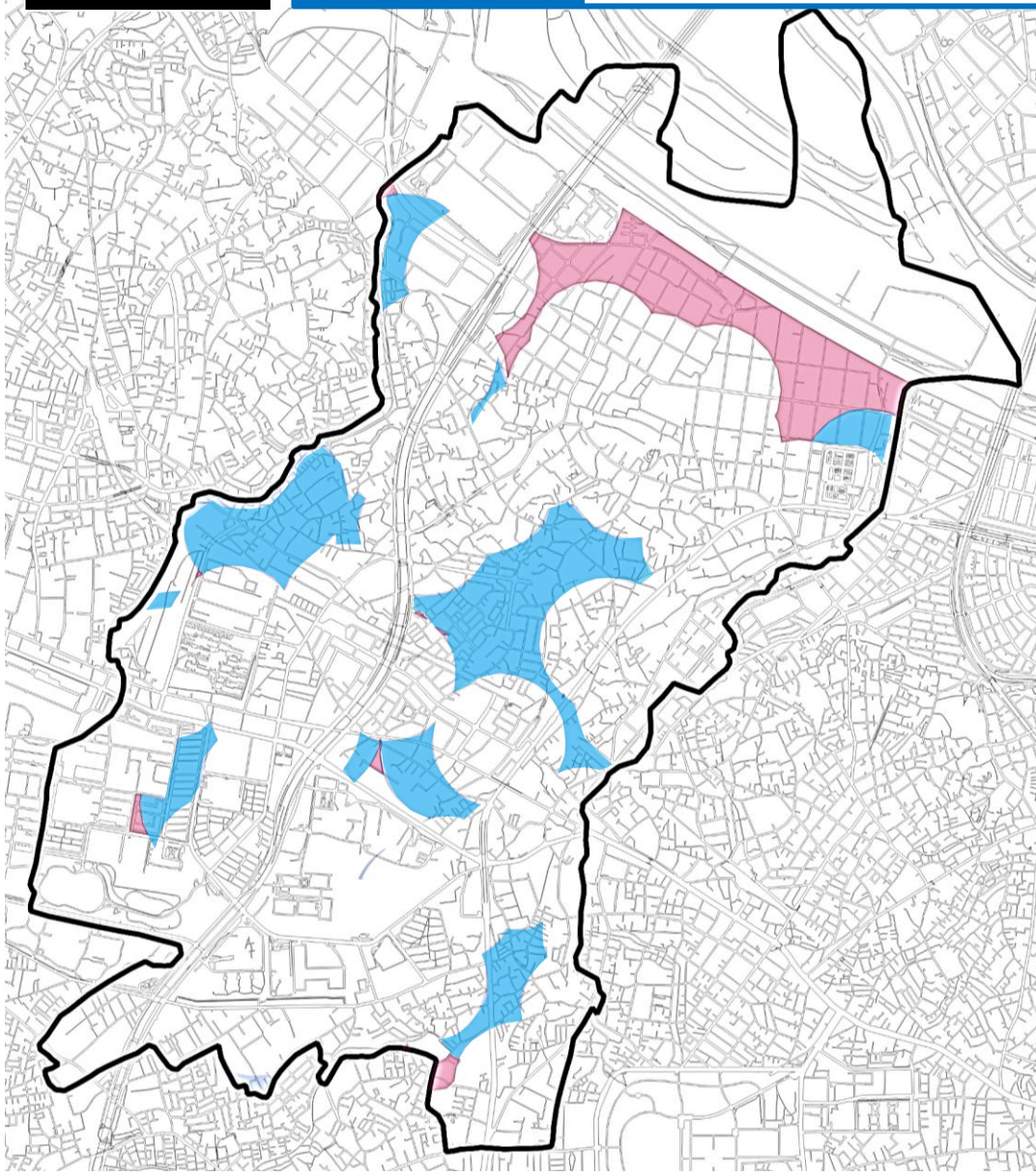
年度	配布対象枚数	使用枚数	割合
令和6	5,016枚	603枚	約12%
令和7	5,136枚	679枚	約13%

※R4～R5は対象エリアが異なる。

目標③

取組内容

公共交通不便地域タクシー利用金助成事業



【凡例】

公共交通空白地域

駅・バス停から300m圏外

公共交通不便地域

バス停300m圏内で、1日のバス運行本数が24本未満

目標③

取組内容

公共交通不便地域タクシー利用金助成事業

■ 実施概要

① 目 的

- ・ 不便地域内の居住者で、日常的な移動が不便な方について、福祉施策と連携した外出機会を創出する【実証実験】

② 期 間

令和8年1～3月

③ 対象者 想定200人

- 公共交通不便地域の居住者で、
- ・ 運転免許証の自主返納者
 - または
 - ・ 介護予防・日常生活支援総合事業の対象者

④ 事業内容

- ・ 3枚のタクシーチケット
(500円／枚)を支給

⑤ 周知活動

- ・ 出前講座
(10回実施、90名参加)
- ・ ホームページ
- ・ LINE・X
- ・ 広報紙
- ・ 広報掲示板
- ・ Gber（ウェブアプリ）

目標③

取組内容

公共交通不便地域タクシー利用金助成事業

■ 結果

【申請状況】 申請者数：9名 配布数：27枚

【利用状況】 **利用者数：6名** 使用数：17枚

○申請者・使用数は非常に少ない

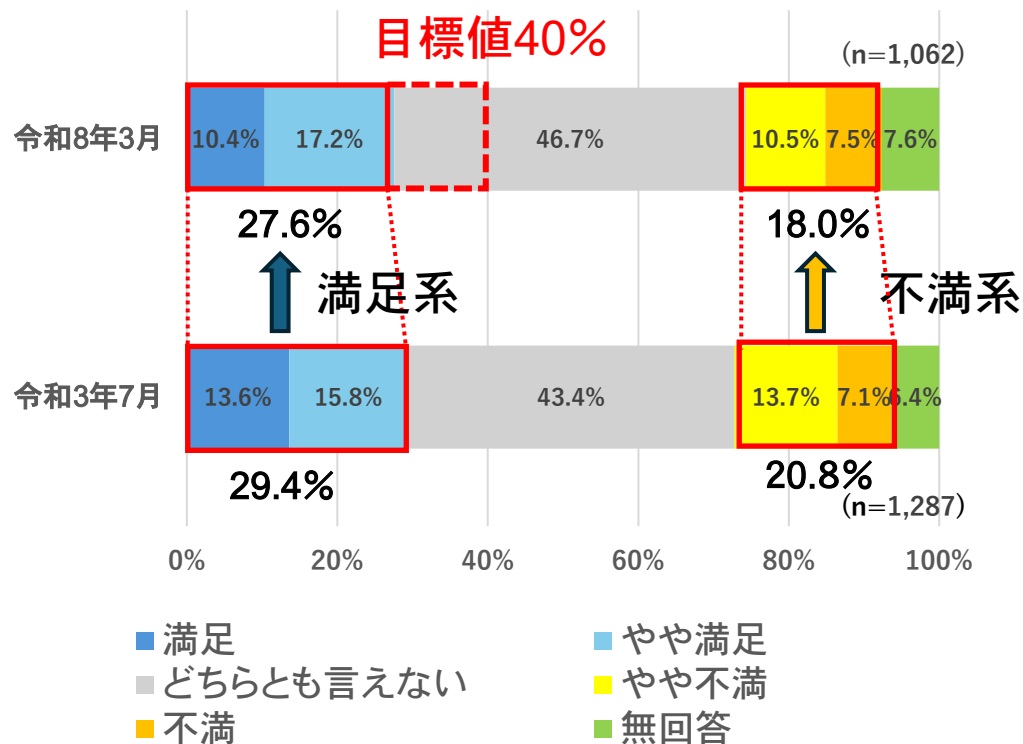
○利用者からの声：「バスより便利」、「疲れた時に利用できて助かった」、
「期間内に利用できなかった」

目標③

評価指標

公共交通に関する市民の満足度

公共交通に関する市民満足度の変化
(令和3年→令和8年)



➤ 市民満足度の推移

- 公共交通に満足と感じている割合は1.8%減少
- 一方、不満と感じている割合も2.8%減少

※市民アンケート調査

- 令和8年3月実施：無作為抽出3,000人
- 回答数1,062件（回収率35.4%）

※公共交通

- 鉄道・路線バス、タクシー、自転車、シェアサイクル

目標④ 誰もが迷わず分かりやすい利用環境・情報提供

評価指標 オープンデータ化率

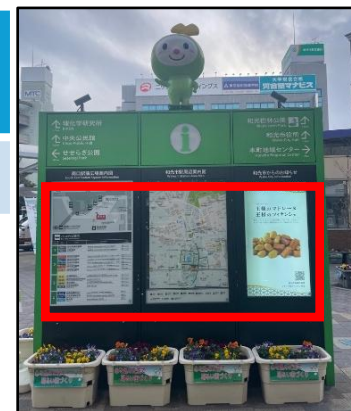
※オープンデータ化とは：市内の路線バス・循環バスの運行情報（時刻表・運行経路等）を、「無償で、機械判読に適した形で、営利目的も含め誰でも自由に二次利用できるルール」で公開すること

令和 3 年度	令和 7 年度	目標値（令和 8 年度）
3 5 %	1 0 0 %	約 4 4 %

評価指標 情報提供等の整備箇所数

令和 3 年度	令和 7 年度	目標値 （令和 8 年度）
1 箇所	1 箇所	4 箇所

※和光市駅南口総合案内板の駅前ロータリー案内表示及び和光市駅周辺案内図を修繕



目標⑤ 交通サービスを提供するための基盤整備及び体制構築

評価指標 交通空間の整備箇所数

■ 令和 6 年 1 月の市内循環バスの運行見直しに伴い、近隣にバス停が新設された公共施設をバス待ちスポットとして新規登録。

令和 3 年度	令和 7 年度	目標値（令和 8 年度）
—	・バス待ちスポット増設：3 箇所 ・待機用ベンチ設置(※)：1 箇所	5 箇所

(※) 和光市駅南口バス停に、待機用ベンチを新設（和光市ロータリークラブ協力）

評価指標 部会・研究会等の開催回数

令和 3 年度	令和 7 年度	目標値（令和 8 年度）
—	2 5 回 （部会 6 回、研究会 1 9 回）	1 0 回

目標⑤

評価指標

モビリティマネジメント実施回数

- 市内イベント（市民まつり、わこらぼまつり等で、市内循環バスや自動運転サービス等のPR活動を実施

令和3年度	令和7年度	目標値（令和8年度）
—	7回	5回

目標⑥ 多様な交通サービスの有機的な連携

評価指標 主要拠点でのバス同士の平均待ち時間

令和 3 年度	令和 7 年度	目標値（令和 8 年度）
約 3 0 分	約 2 1 分 (※)	約 1 0 分

(※) 和光市駅南口での埼玉病院方面行きのバスの乗り継ぎ時間を時刻表から算出。
(市内循環バスの運行見直し（令和 6 年 1 月）に伴う時間短縮)

目標⑥

取組内容

市内循環バスの定額乗車券の実証

1 目的

日常的に乗車する方の負担軽減及び乗車機会の創出

2 実施概要

① 実証期間 令和8年1月～6月

② 販売価格

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月
8,100円	23,090円	43,740円

③ 利用方法

- 乗車時に券面画像をスマホに表示し、運転手に提示

3 事業実施状況

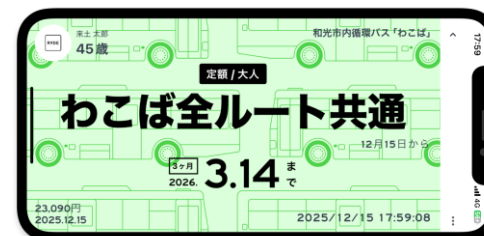
① 販売状況

期間	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	合計
販売件数	4件	1件	1件	6件

(令和8年5月現在)

② 事業の評価・課題

- 実証開始からの販売数は6件
- 割安感を感じにくい価格、認知度不足が要因か



■ 実績まとめ

【評価・案】 A 目標達成 B 目標未達成（進行中） C 目標未達成（未着手）

基本方針	計画の目標	評価
市内の移動しやすさ向上	目標① 利便性の高い地域公共交通軸の維持・充実	B
	目標② 拠点までの市内短距離交通の充実	B
	目標③ 狭隘道路や坂道等による公共交通の不便性の解消	B
	目標④ 誰もが迷わず分かりやすい利用環境・情報提供	B
まちづくりと連携した持続可能な地域公共交通	目標⑤ 交通サービスを提供するための基盤整備及び体制構築	B
多様な移動による地域活性化	目標⑥ 多様な交通サービスの有機的な連携	B



今年度は、現状分析や施策評価等を行い、目標・施策等の検討を踏まえて、第二期和光市公共交通計画を策定する。